

落語に学ぶ日本の幽霊

落語に学ぶ日本文化イン四国大学

主 催 四国大学附属言語文化研究所

日 時 令和元年 12 月 13 日 (金) 16 時 30 分 ~

場 所 四国大学 文学館 2 階 F205 教室

四国大学附属言語文化研究所がおくる「落語に学ぶ日本文化」。今年は、日本の幽霊にスポットをあて、ことば・文化・人間を考究する本研究所の視点から考えます。「お菊の皿」を素材に日本の幽霊について、解説します。また、今年は近代落語の祖・三遊亭圓朝生誕 180 年にあたることから、外国小説の翻案とされる「死神」を本寸法でじっくり聞けるのもこの会の醍醐味です。

落 語 「お菊の皿」

落語家 入船亭扇蔵

解説 文学部日本文学科教授 會田 実 ・ 文学部国際文化学科教授 向井 剛

中 入 (休憩)

落 語 「死 神」

落語家 入船亭扇蔵

入場料無料 (場合により立ち見になることがあります)



入船亭扇蔵師匠のご紹介

人間国宝柳家小三治の盟友入船亭扇橋の一番弟子入船亭扇遊の一番弟子。二つ目遊一時代から徳島(徳島市・吉野川市・美馬市・北島町など)でひとり会を開催。古典落語をさわやかに演じてくれる。「怪気の独楽」や「たがや」「夢の酒」が楽しい。「子別れ」や「文七元結」といった人情噺も聞かせてくれる。これからが楽しみである。

四国大学でも、附属言語文化研究所主催事業として、本学と脇町オデオン座で「落語と日本文化」「落語と文化」を開催、それぞれ文学部(日本文学科・書道文化学科・国際文化学科)の教員とのコラボレーションを行っている。

(文学部日本文学科教授 須藤茂樹)

問合せ先 四国大学学部運営支援課 088-665-9909